

コリア国際学園 広報誌

vol.18 2020.9



越境人

ekkyoujin

CONTENTS

コロナ禍のKISからwithコロナのKISへ
KIS NEWS

コリア国際学園中等部・高等部

コリア国際コース

国際バカロレア(IB)コース

日本留学コース

建学の精神

21世紀の国際社会は、グローバル化と情報化が加速する一方で、政治・経済・社会・文化のあらゆる面において、解決すべき人類共通の課題にも直面しています。とりわけ東アジアは、その集約的な地域のひとつとしてダイナミックな変化が予見される歴史的な転換期にあります。

こうした時代状況を未来に向けて切り拓いていくためには、なにより個性と多様性の尊重を基礎とした創造力の溢れる人間が求められています。言い換えれば、柔軟な発想と幅広いコミュニケーション能力を兼ね備え、問題解決能力に優れた人間の育成にはかなりません。

コリア国際学園（KIS）は、在日コリアンをはじめとする多様な文化的背景を持つ生徒たちが、自らのアイデンティティについて自由に考え学ぶことができ、かつ確かな学力と豊かな個性を持った創造的人間として複数の国家・境界をまたぎ活躍できる、いわば「越境人」の育成を目指します。

コリア国際学園（KIS）は、すべての教育活動を通じて相互の信頼と協同を深め、地域社会に根ざし、コリアにつながり、世界に開かれた国際学校として、世界と東アジアの持続可能な発展に貢献します。

教育理念

多文化共生

民族的アイデンティティと自尊感情を育むとともに、多文化共生社会の実現に向けた知識、技能、態度を身につけた人間を育成する。

人権と平和

人間の尊厳と民主主義を尊重し、世界平和を希求する普遍的価値を創造するとともに、地球的視野を持ち、持続可能な社会の構築に貢献できる人間を育成する。

自由と創造

真の自由を理解し、豊かな個性と多様性を基礎とした創造力の溢れる人間を育成する。



CONTENTS vol.18

2 コロナ禍のKISからwithコロナのKISへ

- 突然の修了式
- オンライン授業の始まり
- オンラインを活かした授業へ
- ハイブリッド授業への模索
- 月額1,000円からのマンスリーサポーターになってください
- KISオンラインハイスクール

4 KIS News

- N G O 平和主催「青少年韓国統一ビジョンアカデミー & セミナー」
- オンライン交流会
- 卒業生だより 第9期卒業生 佐藤匠真



コロナ禍のKISからwithコロナのKISへ

校長 金正泰

新型コロナウイルスの感染拡大で始まった2020年も暮れに近づいてまいりました。感染拡大と自粛を繰り返しながら過ごしたこの1年は、全人類に大きな痛みと悲しみを与えるました。そんな中でも人々はたくましく生き延び、ウイズコロナ、アフター・コロナの社会の在り方を目指して来ました。

コリア国際学園（KIS）は大阪だけでなく、寄宿舎生活をしている他府県からの入学者や、海外からの留学生もいるため、休校や家庭学習指導への切り替えが頻繁に行えない現状から、早いうちにオンライン教育活動の方針を打ち出し、「生徒と教職員の生命と安全を守る」ことを原則として来ました。

新型コロナウイルスへの対応方法が少しずつ分かってきている反面、まだまだ分からることもたくさんあります。越境人紙面を利用して、これまでのKISの教育活動と、これからの取り組みをご紹介させていただきます。

突然の修了式

コロナ禍の中でたくさんのイベントや行事が中止になり、現在も体育祭や文化祭を実施する目途がたっていません。KISで初めてコロナの影響を受けた行事は2019年度中等部修了式です。

オンライン授業の始まり

新年度が始まても留学生が日本に入国出来ない可能性があつたため、3



オンラインを活かした授業へ

当日の朝に決まったため、保護者の方も参加できない修了式になってしまった。大変残念でしたが、他の学年の先輩後輩や先生たちも駆けつけてくれて、いつもより暖かい修了式になりました。

6月ごろから「普段の授業をオンラインで」「オンライン授業」ではなく、「オンラインを活かす授業」を目指す研究チームが作られ、積極的に反転学習を中心とした学習を取り入れるようになりました。これは、後述するKISオンラインハイスクールの誕生につながることになります。

6月からは生徒会や保護者会も活動を開始しました。生徒会ではオンラインでの親睦会や休日に自習の会などが設けられました。オンライン教育で大きな変化があつたのが休み時間でした。普段は休み時間は生徒たちにとつ

月にオンライン授業の準備を進めました。現在ではオンライン会議の代名詞のように使われているZOOMもまだまだ知名度が低いころでしたが、学校への無償利用期間を設定してくれたので、早速利用することにしました。ZOOMの脆弱性やいたずらも報告されていて、教育機関では躊躇するところもありますが、KISでは導入することにしました。最初のころは担当者に電話をかけまくって使い方や問題点を調整していましたが、しっかりと対応してくれて、とても感謝しています。

新学期が始まつて2日間をオンライン授業の準備期間とし、新入生への学

校システムの使い方の研修、教職員や生徒たちへのZOOMの導入などがとまく設定できない生徒一人ひとりに電話で対応しながら準備を進めてくれました。それこそ生徒、保護者、教職員とも大変でした。特に担任の先生はうなづく感がありました。それで、オンライン授業は1日4コマに限定し適切に授業の準備をする方も学ぶ方も余裕があり、かえつて学習効果が低くなつてから午後も授業を始めたが、授業の準備をする方も学ぶ方も余裕があり、かえつて学習効果が低くなつていました。それで、オンライン授業を取り入れるようになりました。

全員で力を合わせて準備を進めて、あとは走りながら調整したようなものです。「教育を止めない!」と言う強い気持ちでみなさんが努力していただいたおかげです。

4月は、午前はオンライン授業、午後は課題学習としました。始めてから

の感想は、「意外と使える」でした。し

かし、先生たちの授業の準備は大変で

した。デジタル機器への慣れや、一か

らの教材研究で、授業の準備に普段の

倍くらいの時間がかかりました。5月

から午後も授業を始めたが、授業の準備をする方も学ぶ方も余裕があり、かえつて学習効果が低くなつて

いました。それで、オンライン授業を取り入れるようになりました。

課題学習を取り入れるようになりました。

て一番樂しい時間です。授業が終わって集めたり、教室で友だちとお話ししたり、トイレや自動販売機の前で友だちと交流したり。しかし、オンライン授業では休み時間が孤独なのです。放課後も同じです。ですから授業で分からないところなどを放課後に友だち同士で遊び合ったりする時間がないのです。そこで生徒会が「みんなで自習」を企画したのです。みんなでZOOMつながって、各々の学習をするのです。疲れたら、抜けてもいいし、また、入つてきても良いし。ただそれだけですが、なんでもやってみることが大事だと思います。他にも、みんなでランチタイムに集まって、KISのDJたちがラジオ番組を放送するKISラジオ、他府県の大学とのコラボ授業、ZOOMでマジックショーを披露してくれた「ちゃんとへん」さんなど、オンライン公演と歴史や意味をお話してくれました。

KISではの様々な教育活動が実施されました。

中学校や高校では休校期間の学習活動が授業と認められないため、夏休みが短縮されたり、土曜授業や放課後授業が導入されたりしていますが、KISではオンライン授業を通常の授業とみなし、余裕をもって学習を進めました。しかし、友だちと会いたいという気持ちは日増しに強くなりました。登校日なども設定したり、登校を促したりしましたが、日本に入国できない生徒がいたり、個人や家庭の事情で登校を見合わせたい生徒もいるため全員登校はできない状態でした。

それでも留学生たちの入国が少しづつ緩和されるにつれて、入国する生徒たちも増え、学校でオンライン授業を受ける生徒も増えてきました。しかし、新入生の留学生や、入国できない期間に留学ビザが切れてしまつた生徒たちは、まだ入国できません。これに対する対応としては、ぜひ日本政府に柔軟な対応をしていただきたいと思います。

10月からは多くの生徒たちが登校しますので対面授業中心になりますが、登校できない生徒もいるため対面とオンラインが共存するハイブリッド授業が展開されます。この間、何度もハイブリッド授業のテストもしましたが、実際に実施するとなると様々な問題が出てくる可能性があります。KIS持ち前のチャレンジ精神で新しいものを生みだしていきたいと思います。



ハイブリッド授業への摸索

中学校や高校では休校期間の学習活動が授業と認められないため、夏休みが短縮されたり、土曜授業や放課後授業が導入されたりしていますが、KISではオンライン授業を通常の授業とみなし、余裕をもって学習を進めました。しかし、友だちと会いたいという気持ちは日増しに強くなりました。登校日なども設定したり、登校を促したりしましたが、日本に入国できない生徒がいたり、個人や家庭の事情で登校を見合わせたい生徒もいるため全員登校はできない状態でした。

それでも留学生たちの入国が少しづつ緩和されるにつれて、入国する生徒たちも増え、学校でオンライン授業を受ける生徒も増えてきました。しかし、新入生の留学生や、入国できない期間に留学ビザが切れてしまつた生徒たちは、まだ入国できません。これに対する対応としては、ぜひ日本政府に柔軟な対応をしていただきたいと思います。



月額1,000円からのマンスリーサポーターになってください

コリア国際学園（KIS）は学校教育法上的一条校ではなく、保護者たちにご負担いただいている学費と、たくさんの支援者からの寄付で運営されています。しかし、コロナ禍による自粛の長期化で支援者のみなさまも大変な状況になってしまいました。

今後はコリア国際学園（KIS）の運営を支えてくださるマンスリーサポーターを広く募集したいと思います。いただいた寄付は教職員の人件費、施設費、教材費など学校運営のために活用させていただきます。

なにとぞよろしくお願ひいたします。



▲ マンスリー サポート



【2021年4月開校】KISオンラインはコリア国際学園のグローバル教育をオンラインで実現する学校です。

KISオンラインハイスクール

コロナ禍は新しい教育活動の視点ももたらしてくれました。当初はこの間のオンライン教育

活動を活かした新しいコースを設置しようと考えましたが、よりコンセプトを明確にするためにオンラインハイスクールを設置することにしました。

KISオンラインハイスクール（KISオンライン）はKISの授業をオンラインで受けられる学校ですが、各種学校の枠を飛び出しさらに目指すものを明確にしています。KISオンラインが目指す教育は「生徒の学びの経験を中心に置いた教育」、「地域と世界の社会資源、テクノロジーを活用した教育」、「人と社会のネットワークの中で育む教育」です。

カリキュラムの特色は①オンラインと反転学習、②学びたいことを自分で計画して学ぶプロジェクトスタディ、③地域貢献をカリキュラムに、④1年の四分の一は海外に住んでみる、です。

わくわくするような学校になると思います。

2021年4月開校予定で、第1期生を募集中です。



【ホームページ】kisonline.jp